

市史編さんだより

「発行」
佐伯市教育委員会
社会教育課
市史編さん係

いにしえの海部の人々は



先史・古代・中世部会
部会長 三重野誠 氏

ふるさとのことを知りたい。という思いに駆られたとき、まず手に取ってみるのが自治体史ではないでしょうか。市民のみならずの思いを手助けできる本として、『佐伯市史』の編さんは始まっています。

現在の佐伯市は平成一七年の大合併で成立しましたが、大昔には海部に住まう人たちの大きなまとまりとして、現在のようないくつかの範囲が存在していたのでも思えます。それが、時代時代の政治によって行政単位として細分化されてきました。今、再び海部に住まう人たちの集合体として現在の佐伯市に再生されたのではないのでしょうか。今回、佐伯の先史では「さいき」とい

う表現で「いにしえの海部」に住まう人々の大きな生活空間を考察しています。さらに、佐伯には美しい海だけではなく、尺間山や傾山など豊かな自然環境に恵まれています。そこで、中世の佐伯の人々の暮らしと環境について、自然環境との関わりからも見ていきます。

当時の人々の思いを現在に蘇らせ、さらにその思いを次の時代につなげていくのも自治体史に課せられた大きな役割の一つでもあります。その意味において、今回の『佐伯市史』では、「いにしえの海部」に生きた人々の姿と彼らの思いを今に蘇らせることをねらいの一つに掲げ、調査・執筆・編さんを重ねていきます。

(三重野誠氏・大分県立先哲史料館館長)



先史・古代・中世部会の様子

真柴茂彦先生を偲んで

去る2月4日に佐伯市史編さんの自然部会長の務めてこられた真柴茂彦先生の訃報が届きました。入院や手術等を受けられていたので、先生の健康を心配しておりましたが、野外調査などにご一緒させていたいただいた時は、元気な様子でしたので、思いがけないご逝去の報に驚き落胆いたしました。

真柴先生とは自然環境調査でよく一緒させていただきました。私の分野は野性鳥類ですが、先生は陸生の植物を中心に、海藻や海岸動物など広い範囲にわたっていました。大分県が実施していた県内の国立公園や県立公園の自然環境学術調査では1994年度の深島・屋形島からご一緒し、その後、佐賀関半島、鶴見半島、国東半島などの調査にあたりました。2009年から2018年まで9年間行われた佐伯市自然環境調査では深島などの島嶼(とうしょ)から藤河内溪谷などの山間部まで何度もご一緒しました。米水津地区の向陽小学校と色宮小学校は、毎年6年生が沖黒島の探検に行っており、2013年から毎年、真柴先生と一緒に生徒を引率して島に上陸してきました。先生は沖黒島に自生するビロウは日本の北限であ

ることやタブやシイなどの植物の話や、私は島で繁殖するオオミズナギドリやカワウの話を生徒たちにしました。

真柴先生は、自然観察を通して地域の人たちや小中学校の生徒たちに、自然の接し方や自然の大切さを指導され、また各地の自然環境調査結果に基づいて多くの調査報告書や町史、村史、自然の書籍を執筆されました。大分県南部の佐伯市を拠点として、自然関係に大きな足跡を残された真柴茂彦先生のご冥福をお祈りすると共に、先生の自然を大切に思う心を受け継ぎ、また伝えていかなければならないと改めて思っております。

(市史編さん自然部会長

武石宣彰氏 寄稿)



真柴茂彦先生



沖黒島で観察指導される真柴先生

八坂神社 疫神齋やくしんさいについて

三月一四日(日)、弥生切畑の八坂神社にて第二四〇回の疫神齋が行われました。

疫神齋とは、江戸時代の天明年間(一七八一〜八八)から続けられているお祭りです。「この世に、災いするすべての疫病神を疫神塚に封じ込み、これを焼き払う行事」(弥生町誌)のことです。

当日は、市史編さん民俗・文化財部会の、段上達雄教授(別府大学)と谷部真吾准教授(山口大学)も八坂神社を訪れ、佐伯神楽や湯立神楽の奉納、疫神塚の焼き払いなどを視察されました。

佐伯市で疫神齋を行っているのは、弥生の八坂神社のみで、段上教授によると、全国的にみても珍しい行事だということだそうです。

今の世の中に災いをもたらしている新型コロナウイルス感染症も、このお祭りにより終息することを願っています。



【お祓いを受けている谷部准教授】



【疫神塚と疫神祓いの様子】

市指定有形文化財(猿谷の石風呂)

本匠上津川の溪谷にあります。いつ頃作られたかは不明ですが、この地を訪れた弘法大師が、風呂に浸かって長旅の疲れを癒したという伝説もあります。

溪谷脇の石の窪みを浴槽に代えて川水を引き、焼いた石を投げ入れて水を温めていました。

薬草であるセキシヨウ等を浸すことで、薬湯としての効能があり、万病に効くといわれ、昭和の初め頃まで近隣の地区の方々に利用されてきました。

県下にはいくつかの石風呂が残されていますが、その多くは蒸し風呂であり、このような湯舟型はきわめて珍しいものです。保存状態もよく貴重な文化財といえます。



資料に関する情報提供のお願い

市史編さん係では、古い資料などを探しています。引越しや家の整理・片付けの際、古い道具や写真・書類など見つかりましたら、ぜひお知らせください。

また、冠婚葬祭や年中行事などで、昔から行われているしきたり、風習についても調べています。

何かご存じでしたら、情報提供をお願いします。

皆様方のご協力をお願いいたします。



昭和39年の春まつり舞踊隊 (大手前の警察署前)

【問い合わせ・連絡先】

佐伯市教育委員会
社会教育課 市史編さん係
☎ 22-4095
✉ hennsan@city.saiki.lg.jp